

帯広厚生病院外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 膵癌患者における術前の客観的栄養指標が術後合併症発症・生命予後に与える影響に関する検討

[研究責任者名・所属] 栗原 尚太（帯広厚生病院 外科医長）

[研究の目的]

膵癌は我が国において悪性腫瘍による死亡原因の第4位に位置しており、今後も患者数の増加が見込まれています。進行が早く早期に転移再発を来すことから難治癌の代表と言われていています。手術や抗がん剤治療、放射線治療などさまざまな治療法が開発されておりますが、栄養療法に関してはあまり研究が進んでいないのが現状です。この研究では膵癌患者さんの手術前の栄養状態と手術後の合併症発症率や、生命予後（どれくらい長く生きられるか）との関連を調べることで、膵癌を克服するためのより良い栄養療法を模索することを目的としています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

膵癌の患者さんで、2009年1月1日から2021年4月30日の間で当科にて根治手術を受けられた方を研究対象としています。

○利用するカルテ情報

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身長、体重、検査結果（血液検査、CT画像検査）、手術関連情報（術式、手術時間、出血量）、病理学的診断（ステージ）、術後情報（再発日、再発箇所、死亡日、死亡原因）

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、ご住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道帯広市西 14 条南 10 丁目 1 番地

帯広厚生病院外科 担当医師 栗原 尚太

電話 0155-65-0101 FAX 0155-65-0105